



大阪YWCA

7
2022

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「復帰」後、50年経つけれど…

國分 美生



1972年の5月15日は土砂降りだったと聞きます。今年も雨が降ったりやんだりの肌寒い中、県内の各地で「日本復帰」を問う集会が同時並行にいくつも行われましたが、この空模様がまるでそのまま、沖縄県民の思いを表しているように思えてなりませんでした。

1972年の5月15日は土砂降りだったと聞きます。今年も雨が降ったりやんだりの肌寒い中、県内の各地で「日本復帰」を問う集会が同時並行にいくつも行われましたが、この空模様がまるでそのまま、沖縄県民の思いを表しているように思えてなりませんでした。

「復帰」するもしないも、自分で選ぶことのできなかつた沖縄YWCAユースメンバーたちは口をそろえて言います。「当時は米軍の支配下で、市民の人権もへったくれもなく、土地は力づくで奪われ、基地があることによる犯罪や風紀の乱れに悩まされ、教育や経済もボロボロ…そういう状況から抜け出せると思ってた復帰を望んだはず。でも、『復帰』後も何も変わっていませんよね。」「かといって、『復帰』以外に何をどうすれば沖縄は真の平和の道

を歩めたのか、自分にはわからないし、想像もつかない。それに『復帰』を望んだ人たちの現実認識が甘かったと言うのも酷だと思う」と。半世紀経っても彼女たちが、未だ米兵による性被害や犯罪に怯えなくてはならず、生活水の汚染や米軍機の事故、美しく貴重な海や森の破壊、そして沖縄戦とその後の歴史に由来する貧困、といった問題だらけの社会で生きるしかないのは日本の国の責任であること、を、ヤマトウ（日本）の人間として私自身重く受け止めます。

沖縄復帰50周年式典が行われた会場の外ではハンガーストライキが実施され、岸田首相に訴えたいと市民が殺到しました。「お祝い」ではなく

閉塞感の中、沖縄の若者たちの間でも「琉球独立」や「琉球王国再建」という声も聞かれます。ですが、沖縄YWCAユースメンバーたちは「国家は権力支配構造を生

み出す。だからどんな道を選んだとしても、権力からの解放、そして女性や子ども、弱い立場の人たちも安心安全に幸せに暮らせる平和な社会を目指したい」と言います。沖縄の痛みと苦しみを自分自身の傷として生きる彼女たちは、だからこそ真の平和のために自分たちが出来ることを模索し続けています。

み出す。だからどんな道を選んだとしても、権力からの解放、そして女性や子ども、弱い立場の人たちも安心安全に幸せに暮らせる平和な社会を目指したい」と言います。沖縄の痛みと苦しみを自分自身の傷として生きる彼女たちは、だからこそ真の平和のために自分たちが出来ることを模索し続けています。

こくぶん みお

沖縄YWCA会員

鹿児島県出身 2016年から

沖縄在住

沖縄バプテスト連盟普天間教会

協力牧師

週末は船長として、辺野古新基地建設海上阻止行動に参加する

平和環境部

聖書を学ぶ会

手話サークル (Knot)

英会話サロン

みのり会

梅田の会員活動紹介



今年、委員会の改編が行われ、いくつかの委員会が梅田会員部委員会の中のグループ活動として活動を始めました。奨学金委員会が提供していた野菜スープは、4月から「グループベジスープ」が美味しいスープを作り留学生に提供しています。学生からは日本に来て食べたものの中で一番美味しいという声を聞き、励みになっています。他にも、「平和環境部」と「こども部」がグループとして活動を継続しています。

コロナ禍で自粛していたグループも活動再開し始めており、「みのり会」は月に一度の例会に集い、身近な話題の勉強会や、80歳以上の会員に寄せ書きをしてお誕生日カードを送っています。

視覚障がい者の生け花教室「むらさきつゆくさの会」は中山文甫会さんの協力を得て10人の受講生と9人のボランティアが活動しています。お花に触れ匂いを感じ、心が豊かになると再開を喜んでいきます。「手話サークル(Knot) (ノット)」は普通の手話サークルと違い、勉強以下おしゃべり以上というコンセプトで、聴覚障がいを持つ



留学生へ野菜いっぱいのスープを手渡し

メンバーが聴こえる参加者達と手話で交流をしています。講座修了生からできたグループとしては「スウスの会」が絵本の勉強会や情報交換をおこなっており、リーディンググループは「エコー」と「ぼれぼれ」が音訳や朗読の勉強会を続けています。「いのちを語る会」も隔月で集まり生と死について話し合っています。傾聴関連では2年間活動休止していた「傾聴カフェラベンダー」が5月より再開、また個人訪問傾聴「コスモス」も4月から再開しています。

講師を迎えてのグループは「聖書を学ぶ会」が都島教会の井上隆晶牧師をむかえ聖書講義とデイスカッション、「絵手紙」は安達富子先生をむかえ、季節に合わせた題材で作品を完成させ会員ルームに展示、うめだたよりにも毎月掲載しています。「ソーパークーピングの会」も田中直美先生のご指導で、毎月作品を一つずつ完成させています。「英会話サロン」はネイティブの先生と英語で時事・文化・国際情勢などを話し合い交流しています。

グループベジスープ



むらさきつゆくさの会 活動の様子

こども部



絵手紙の作品

むらさきつゆくさの会

ぼれぼれ

エコー

スウスの会



ソーパークーピング

いのちを語る会

ソーパークーピングの会



絵手紙

傾聴カフェラベンダー



傾聴カフェラベンダーの様子

コスモス

つぶやき

ぶどうの木

私事ながら、ことし還暦を迎えます。短大時代の友人らと誕生日にはお祝いメッセージがラインで飛び交います。5月生まれの友人が一番先に60歳に。「卒業して40年、早かったね」「大きな病気もせず、よく生きてきたね」「頑張ったね」と褒め合っています。

思えば、20歳の社会人1年生の時は知らない事ばかりでした。けれども40年経った今、昭和、平成、令和と年号も変わり、年表に載るような歴史的な出来事にも出会い、世の中のことも少しはわかる様になった実感があります。その実感と歳月を愛おしく感じています。

人生100年なら、まだあと40年、世の中がどうなるのか見届けようと思っています！願い事を1つ。世界の平和が保たれ、戦争が愛する家族のために戦う道理とされないうようにと願います。

(会員 田中 礼子)

世界YWCA日集会

4/30(土)



2035年へ向けた世界のYWCAに集う仲間の共通目標、「ただの目的ではなく、私たちが共に創る場所へ」を掲げ、4月24日の世界YWCA日前後に、世界中の色々な国と各地域で、「世界YWCA日集会」

が持たれたはずですが。大阪YWCAでも、4月30日(土) 14時〜16時にチャペルで、久しぶりに対面とオンラインのハイブリッドで開催。紅茶と手作りケーキを楽しみながら歓談のひと時を持ちました。参加

者は16名、ここ3年間の新入会員歓迎会も兼ねていたので、3名の新しい仲間が来てくれました。多くの国と地域にYWCAがあること、ウクライナにもパレスチナにも仲間がいる事、日本国内各地域にYWCAと中学・高校には学校YWCAがあり、平和な世界を求めて女性が主体的に活動している事、そして大阪YWCAでも多岐にわたる活動を行なっている事を、スクリーンにたくさん写真を示しながら、参加者が交代で説明を加えて紹介しました。新しく加わられた3名は、すっかり打ち解けて親しくなられた様子でした。

新入会員の皆さん、ようこそ、大阪YWCAへ、世界YWCAへ！ 自己紹介で、大阪YWCA歴〇〇十年、楽しくて勉強になったから続けて来られたという先輩方のお話を聞いてくださったと思います。この先、未長く活動を共にしてくださいね。よろしくお願います。

(会員 津戸 真弓)

わたしのイチオシ! 本「図録」



この2年間、幾多の美術館や博物館で展示会が中止となり、がっかりされた方も多いのではないだろうか。しかし、今の時代は展示会のオンラインショップで図録の購入が可能だ。豪華な装丁のものが多く、重いのが玉に瑕だったが、それも解消される。一度のぞいてみては如何？

(会員 小澤 裕子)

「(風俗) 店の方が家にいるよ。上間さんには感謝してりまし」オナーには感謝して。臨月まで働かせてくれて、客がいけない時は横にならせてくれた「少女たちの生々しい証言に、彼女達の厳しい生活や生い立ちが透けて見え苦しくなりました。日本YWCA主催「上間陽子さんに聞く 沖縄」でのごことです。上間さんは「裸足で逃げる」「海をあげる」など話題作を上げられています。専門は社会調査(フィールドワーク)つまりデータ収集活動です。講演では、具体的な数字によるデータも紹介されました。が、心に響いてきたのは、沖縄の夜に働く少女たちの話を、本人曰く「根掘り葉掘り」聞いてでてきた生の声でした。「どうせ言っても無駄」とあきらめてきた彼女達が

上間さんには語った。それを真摯に受け止めた上間さんは昨年「話をきくだけでは間に合わない」と若年性妊産婦のシエルタ「おにわ」を立ち上げました。こどもは生きるために不適切な環境にもたやすく順応すると言われています。「快」こちよさ」から遠いところにいた彼女らが「食べて生きて欲しい」と祈る「おにわ」のスタッフに囲まれて体と心のケアをし、自分が受けた「理不尽な暴力」の意味を受け止め、育ち直せることを祈らずにはおれませんでした。そして、上間さんの話は沖縄だけの特殊な話ではなく、今私が大阪や京都で出会っている少女たちに重なることを胸に深く刻みました。

(会員 辻川 さとみ)



日本YWCA主催講演会
「上間陽子さんに聞く 沖縄」に参加して

☆大阪女学院
中学校・高等学校
<http://www.osaka-jogakuin.ed.jp/>
大学・大学院・短期大学
<http://www.wilmina.ac.jp/>



創立1884年。愛と奉仕の精神で 社会に貢献する女性を育てます

聖書の言葉

主なる神は、弟子として
の舌を私に与えられた人を
励ますように言葉を呼び覚
ましてくださる。

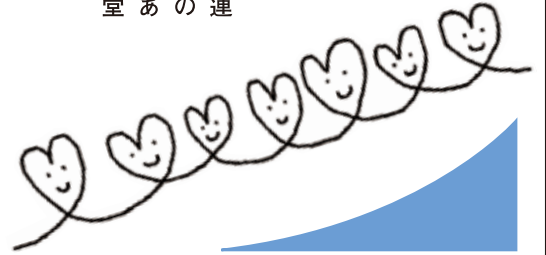
(旧約聖書イザヤ書

50章4節)

2022年度

加盟YWCA中央委員会
深まる地域Yのつながり

5月28日(土)、加盟YWCA中央委員会が3年連続のオンラインで開催された。年に一度、日本全国の地域YWCAの会長及び総幹事、全国の職員代表である代表幹事、日本YWCA運営委員、及び職員が一堂に会する。今年は47名がオンラインで参加した。



藤谷佐斗子日本YWCA会長のメッセージで幕を開け、

戦火に苦しみ生命を脅かされ、自由を押しつぶされたすべての人々のために祈りを捧げた。2021年度の各種報告と決算、2022年度事業計画と予算が例年通り採決された。理事会からは「人材養成部会」「平和のためのYWCA研究室」が具体的に動き出したことが報告された。各委員会からの報告は以下のとおり

- ①人権・ジェンダー委員会 日韓ユースカンファレンスの企画と実施、国連女性の地位委員会へユース派遣
- ②平和・核委員会 広島を考える旅50周年記念サイト運営、戦争体験募集、選挙に行こうキャンペーン実施
- ③地域連携委員会 LA(地

域YWCAを主体とした活動)第3期募集

- ④中高YWCA委員会 2022年度全国カンファレンス実施予定
- ⑤ネットワーク強化委員会 ミドルギャザリング、コアユースギャザリング、バーチャルde地域YWCA訪問

またオープンプログラムとして「地域YWCAジェンダーに関する活動交流会」が昨年引き続き開催された。第一部「体験の分かち合い」では①読書会をやってみた②日韓ユースカンファレンス報告

③第66回国連女性の地位委員会報告を全員で聞き、第2部の関心別分科会で地域Yの実践と発表を小グループで分かち合い、議論を深めることができた。ジェンダーを主軸に

据えた多様な活動に触れ、新たな発見の場となった。予告として、「YWCAフエスタ2022」と「臨時全国総会」が11月26日(土)、東京YWCA会館にて対面とオンラインでのハイブリッド開催の実施が発表された。久しぶりの対面での全国の仲間との集いに今から胸が高鳴る会員も多いのではないだろうか。(文責 編集部)



ご協力ありがとうございます

〔22/4/1~5/31〕敬称略順不同

■募金 2口 10,000円

新入会員歓迎!!

〔22/4/1~22/5/31〕

- ☆梅田 橋本 真菜
- ☆千里 安川実千代

5月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント部 4/30 関学Yオンライン会議

▼梅田会員部 4/20 グループセッション ウェルカムスプ

6/18 平和環境部学習会
【協議】①第3期LA補助申請 ②ピースフェスティバル

6月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント部 インターンシッププログラム2022募集 6/14

西野田工科高校定時制へ講師派遣

▼梅田会員部 7/2(ミニバザー)

▼千里委員会 6/28 千里会員集会

【協議】①バーチャルde地域Y訪問 ②第3期LA補助申請 ③ピースフェスティバル

- 梅田会員部委員会 匿名1名
- グループパレット 川口 和子 西坂 惠美 村井 毅
- 千里委員会 阿部 晴水 末吉佳世子 山本 宣子
- 女性エンパワメント部 金 香百合 雀部 真理
- その他 片山 隼亮
- 秋山 佳子 朝岡 千晶 朝川 晃子
- 飯田 雅子 稲田 千代 植木 知子
- 上野 康子 内坂 健 川勝 宏子
- 川上 悦子 川崎 明恵 川崎 仁子
- 瀬織 美香 木幡 弘子 齋藤 知子
- 阪本 和子 穴戸 百子 鈴木 一代
- 高野美美子 田中真砂子 谷 佐代子
- 谷川いづみ 二谷世津子 原 紀子
- 平櫛 紀子 藤岡美智子 古崎 裕子
- 帆足 文子 本田 芳子 松井 制子
- 森垣 房子 安田 乙世 山下つねよ
- 吉本沙矢香
- 匿名1名

2022年度 インターンシッププログラム 参加者募集中!

詳しくは WEBへ!

大阪YWCA専門学校 日本語夏期集中コース

夏休みに集中して日本語を学びましょう!!

2022年7月19日(火)~8月5日(金) (3週間)
月~木 10:00~15:00 金 10:00~12:00
受講料:81,080円(税込み)
日本語の授業の他にもオプションプログラムがあり、楽しく日本文化の体験ができます。(自由参加・費用は別途必要)
申込み・お問合せ:大阪YWCA専門学校 TEL06-6361-2955

今年是对面で実施します!

憲法を暮らしと平和に生かそう

1967年創立 大阪中央法律事務所

検索

京阪線・地下鉄谷町線 天満橋駅より徒歩3分

お問合せ: 06-6942-7860

平日10:00~17:00
初回相談料無料・当日相談可
〒540-0033 (住所) 大阪市中央区石町1-1-7 永田ビル4階